

事業所名

ステップ御崎

支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）

作成日

2025年

2月

10日

法人（事業所）理念		笑顔で素晴らしい対応と優しさ				
支援方針		地域社会において、発達に問題の抱える子どもが健康で幸せな生活を送ることができるよう、個人の尊厳の保持・特性に応じた適切な福祉サービスを提供し、高い専門性を保持した療育を行い、ステップ御崎に関わる人が笑顔になれる場所であるよう支援をしていく。				
営業時間		10時	0分	18時	30分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	事業所の環境やお友達に慣れ、スタッフとの信頼関係を構築し、子ども達にとって安心できる居場所作りを目指していく。来所してからの荷物整理やお着替え、お手洗い等の一連の行動が自分で行えるようになることで生活に必要なスキルを身につけてもらい、自立支援に繋げていく。毎回、事業所の到着時に検温を行ない健康状態を確認する。				
	運動・感覚	サーキット運動やプレイルームの感覚統合遊具を用いて、全身運動を通して体力をつけ、体幹を鍛え、感覚が統合されるように環境設定を行ない、取り組んでいく。また机上で粘土遊びやスライム遊び、お砂遊び等を通して触覚刺激をする感触遊びも行ない、「動」と「静」の双方向からの楽しさを感じてもらいながら支援に取り組んでいく。				
	認知・行動	一日の行動をホワイトボードのスケジュール表で確認して、集団での行動・生活がスムーズに行えるように支援していく。場面切り替え時などはタイマーを用いて、場面に合った行動を認知できるように環境の設定も行なう。				
	言語コミュニケーション	言語聴覚士による個別の言語療育と言語聴覚士の助言を基にスタッフ全員が子ども達、個々に合わせた表現方法を共有し、支援を行なうことで、言葉の発達とコミュニケーション力を高められるように取り組んでいく。				
	人間関係社会性	集団活動前のスタッフの説明を最後まで「聞く」ことや集団活動時の「順番を守る」「ルールを守る」「譲り合う」などを活動の中で自然と「人間関係・社会性」を身につけられるように支援に取り組んでいく。また、たくさんの「できた」の成功体験を積んで自己肯定感を高められるように支援していく。				
家族支援		ご家族の悩みや不安に対して寄り添い、子どものご家庭と事業所での様子を情報共有し、相互的な信頼関係を築けるように努める。子どもたちの活動の様子を毎月のお便りやSNS等を活用した日々の様子を発信し、伝える。		移行支援		保育園や幼稚園、学校と連携し、次の段階への移行をスムーズにできるように問題点や課題の共有を行ない、解決へ繋げていく。
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園・小学校・ご家庭と連携し、情報共有をしながら同じ視点を持って、子ども達の健やかな成長のため、支援ができるよう取り組んでいく。各関係機関と連携を行う。担当者会議に参加し、情報の共有をする。		職員の質の向上		職員の成長につながる外部で受講した研修は事業所内部にて伝達研修を行い「伝える」力を養う。個々の“障がい福祉“に対する知識面・技術面の向上と、【ユマニチュード】を基本とした支援技法の習得を行う。
主な行事等		春は運動会。夏はプール遊び。秋は法人内の「奈良・葛城」の農業体験。冬はクリスマス会等の季節に応じたプログラムの開催をする。また保護者会や参観などを開催する。				